
「免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象発現時の治療に関する後方視 的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと
行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用する
ことに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結
構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切
ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2015年1月1日から2021年2月28日の間に、埼玉医科大学総合医療センターを受診し、悪性
腫瘍と診断され、免疫チェックポイント阻害薬の投与を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

免疫チェックポイント阻害薬の治療を受けた患者さんを対象に、免疫関連有害事象（以下、irAE）
の発現の有無、発現したirAEの種類（肺障害、内分泌障害、皮膚障害、肝障害、神経障害、心障
害など）、irAEの治療内容と転帰や他科受診の状況などを調査します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日まで

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、性別、診療科、がん種と進行度、免疫チェックポイント阻害薬名、併用した抗がん薬名、
既往歴、治療歴、採血データ（生化学、血算、免疫、内分泌、尿検査など）、全身状態、発現した
免疫関連有害事象とその重症度、治療内容（薬剤名、投与量、投与期間）、他科受診の有無、転帰
※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者
である森本 真宗が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患
者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

診療録（電子カルテ）より上記の情報を抽出します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部主任 森本 真宗（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部長 近藤 正巳

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 森本真宗

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

TEL : 049-228-3543（直通）（平日 9 時～17 時）

○研究課題名：免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象発現時の治療に関する後方視的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 森本 真宗